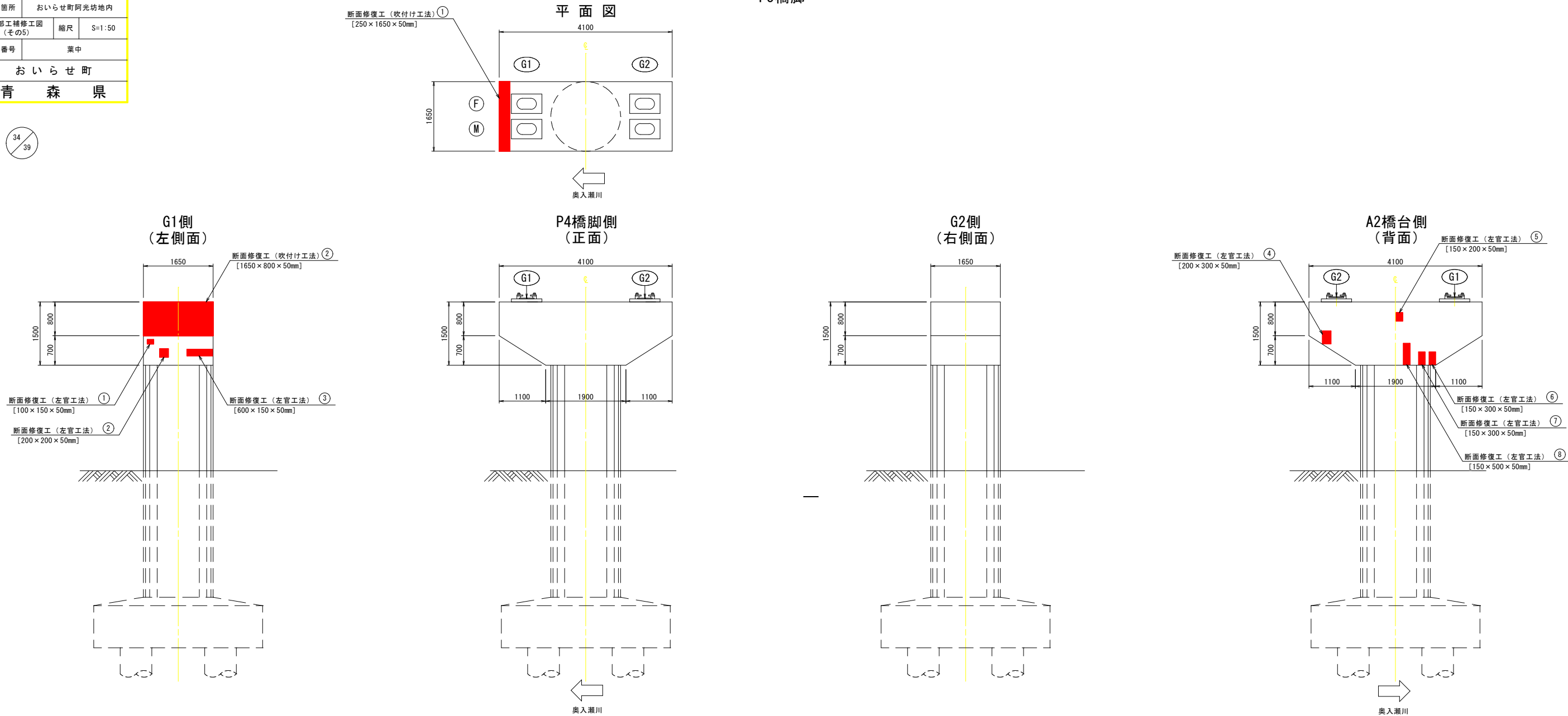


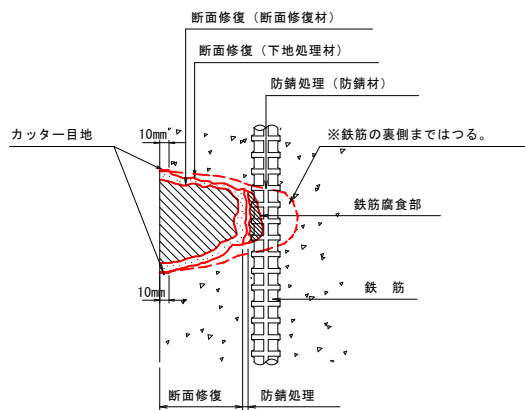
令和8年度 神明橋橋梁補修工事		
工事番号	第 8 号	
路線 河川	阿光坊線	
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内	
下部工補修工図 (その5)	縮尺	S=1:50
図面番号	業中	
おいらせ町		
青 森 県		

神明橋 下部工補修工図（その5）

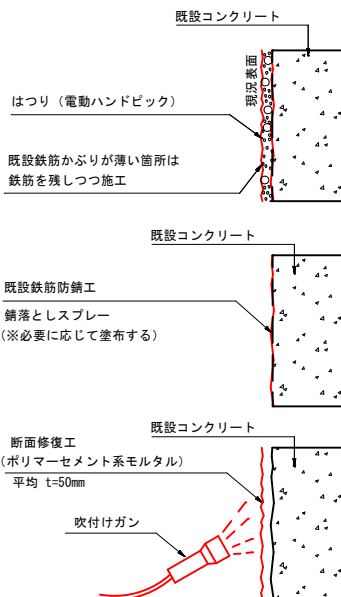
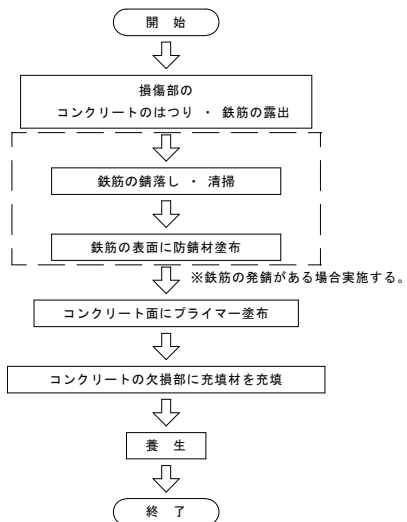
P5橋脚



断面修復工〔左官工法〕



断面修復の施工フロー



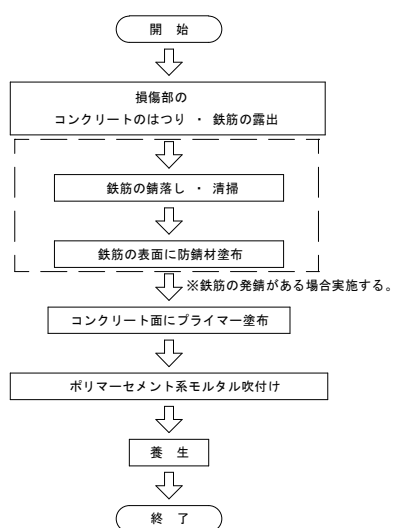
断面修復工〔吹付け工法〕

STEP.1 現況表面をはつり
脆弱部をハンドピックではつり取っていく。
鉄筋を破損しないよう留意しつつ施工する。

STEP.2 さびている鉄筋の防錆処理
既存鉄筋について、発錆部分は錆落とし処理
を行っていく。

STEP.3 ポリマーセメント系モルタルで50mm断面復旧
外的劣化要因への抵抗性が高いポリマーセメント系
モルタルによって断面を復旧する。
塗布厚が厚いため、施工方法は吹付け工法とする。

断面修復の施工フロー



断面修復工 数量表

（ポリマーセメントモルタル）

工 法	箇 所	寸 法			数 量					
左官工法	P5橋脚	①	0.100	×	0.150	×	0.050	=	0.0008	m ³
		②	0.200	×	0.200	×	0.050	=	0.002	m ³
		③	0.600	×	0.150	×	0.050	=	0.005	m ³
		④	0.200	×	0.300	×	0.050	=	0.003	m ³
		⑤	0.150	×	0.200	×	0.050	=	0.002	m ³
		⑥	0.150	×	0.300	×	0.050	=	0.002	m ³
		⑦	0.150	×	0.300	×	0.050	=	0.002	m ³
		⑧	0.150	×	0.500	×	0.050	=	0.004	m ³
		合 計							=	0.02

断面修復工 数量表

（ポリマーセメントモルタル）

工 法	箇 所	寸 法		数 量
吹付け工法	P5橋脚	①	0.250 × 1.650 × 0.050 =	0.021 m ³
		②	1.650 × 0.800 × 0.050 =	0.066 m ³
		合 計 =		0.09 m ³

注記

- 本図面は、既存資料および現地調査をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 事前調査として、施工前に必ず打音調査を全体的に行い、はつり面積を再度確認すること。
- コンクリートの脆弱部は確実にはつり落とし、補修を行うこと。
はつりは最低50mm以上は行うこと。